

ちくご市議会だより

CHIKUGO SHIGIKAI DAYORI



筑後小学校のプール開き
6年生におんぶされて、1年生も6年生も笑顔いっぱいになりました。

6月定例会

- P 2 羽犬塚中学校 長寿命化改修等工事一部見直しへ
- P 4 「教育研究所」から「教育支援センター」へ
- P 6 9人の議員が市政を問う
- P 11 庁舎建設特別委員会の活動紹介

命化改修等工事一部見直しへ それぞれ平屋建てに

主な議案と質疑

筑後市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

(全員賛成・原案可決)

地方税法施行令の改正に伴い、課税限度額や低所得に係る軽減判定所得等について改正する。

今回の改正で、国保税の課税限度額が3万円増の109万円に引き上げられた。

筑後市税条例の一部を改正する条例制定について

(全員賛成・原案可決)

(全員賛成・承認)

地方税法等の改正に伴い、所得控除の種類に特定親族特別控除を新たに加えるなど、所要の改正を行う。

今回の改正で、令和8年度分の個人住民税から、「特定親族特別控除」が追加されるほか、来年度から加熱式たばこの課税

方式が見直される。

また、4月から導入された新基準原付の税額を、50cc以下と同額とするなど、専決処分を承認した。



新基準原付
総排気量50cc超125cc以下
最高出力が4.0kw以下

令和7年度筑後市一般会計補正予算(第1号)

(全員賛成・原案可決)

令和7年度の予算総額を2億1526万円増額し、258億526万円とする。

内容は、昨年度に実施した定額減税における当初調整給付に不足が生じている人や定額減税の対象外で、かつ、これまでの低所得世帯向け給付の対象とならなかった人に対して、追加で給付するため、関係経費を計上。すみやかに給付手続きを進めるため、初日に議

決した。

令和7年度筑後市一般会計補正予算(第2号)

(全員賛成・原案可決)

令和7年度の予算総額を2億383万円減額し、256億142万円とする。

主な内容は、簡易ベッドなどの防災資器材整備のための備品購入費や、こども未来基金を活用し、次世代の人材育成事業や国際交流、スポーツ体験事業、中学生音楽交流事業等を実施するための経費などが増額された。一方、筑後南小学校グラウンド整備事業を6年度に前倒して実施したため、不要となる関係経費等が減額された。

人事案件1件(同意)

固定資産評価員

田村 敏浩

【新任】
(敬称略)

【6月定例会】議案等に対する審議結果は、全て全員賛成でした。



※すべての議案名と審議結果は、
市ホームページに掲載しています



令和7年
6月定例会
6月6日～6月20日

羽犬塚中学校 長寿

プール棟・給食棟

6月定例会では、提案された12議案(人事案件1件、議長発議1件を含む)を原案どおり可決・承認・同意・決定しました。

今議会では、令和6年度実施の定額減税における当初調整給付に不足が生じている人や定額減税の対象外で、かつ、これまでの低所得世帯向け給付の対象とならなかった人に対し、追加給付を行うための経費を増額する一般会計補正予算(第1号)を初日に可決したほか、救急車両購入事業の繰越明許費(※)補正を含む一般会計補正予算(第2号)を可決しました。

また、多様化・複雑化する学校の諸課題に対し、効果的・効率的な支援を実施するため、教育相談や支援事業を充実させ「筑後市教育支援センター」に改編する条例などを可決しました。

令和6年度筑後市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について

羽犬塚中学校校長長寿命化改修等工事設計業務の設計内容が、市と事業者で確認していたものから大幅に変更されていることが今年3月に発覚し、その対応を年度内に完了させることが困難であったため、事業の一部について翌年度に繰り越すもの。

問 給食・プール棟の概算工費が、昨年11月19日の基本設計時に提示された約9億円に対し、今年3月14日には15億円となった理由は。

答 事業者は、基本設計での概算工費を算出する際に、見込み違いがあり、結果試算が甘かったと説明。

| プール棟・給食棟の改修設計 (補足説明) | |
|-------------------------|-------|
| ○事業者が提示した概算工費 | |
| 令和6年11月19日 | 9億円 |
| 令和7年 3月14日 | 15億円 |
| ○令和7年度当初予算 | 7.8億円 |

問 令和7年度当初予算の7億8000万円以内とするには、構造など大幅な見直しを行う必要があるのでは。

答 これまでの3階建て案は、難しいと考えている。今後は、プール、給食室それぞれ別々の平屋建てで協議を始める。付属する設備も見直して、当初予算で収まるように進めていきたい。

問 本場にこれが事故繰越しにあたるのか。

答 本来であれば明許繰越(※)の手続きを取る必要があった。羽犬塚中学校の長寿命化工事を進める必要があると思っており、時間的な制限があり、事故繰越しという手段しかなかったと判断している。

問 契約の解除は検討したのか。

答 契約の解除も考える材料であった。校舎の長寿命化の設計は、すでにできており、プールと給食棟が未完了という状況

で、事業者だけの責任ではないと思っている。解除をせずに手直しで、未完了となつている設計を仕上げてもらうことが一番だと判断した。

問 今から基本設計で、3月までに約8億円もの工事ができるか。

答 年度内に完成させることは難しいと思っている。明許繰越(※)を含め議事に提案し、意見をいただきたいと思っている。また、きちんとした図面や設計書が提出された段階で、議会に説明をしたい。

(※)年度内に支出が終わらない場合に議決を経て翌年度に支出を繰り越すこと。



羽犬塚中学校の現在の給食室

提出された議案を
くわしく審査!

員会報告

「教育支援センター」へ

総務文教委員会

教育研究所が 教育支援センター へ改編

不登校の増加など多様化・複雑化する学校教育の諸課題に対応し、より充実した支援が提供できるよう改編するもの。

問 具体的な取組は。

答 従来の教育研究所、スマイルの職員に加え、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置し、教育に関する相談、不登校支援、児童生徒に対する心理及び福祉的な支援、教職員研修等を一元化して行っていく。

市税条例の一部改正

令和7年度の税制改正により、地方税法等の一部が改正されたことに伴う改正。8年4月1日からの加熱式たばこの課税方式の改正など。

問 たばこ税の今後の税収はどうか。

答 加熱式たばこ税は、従来の紙たばこに比べ課税に公平性を欠いているため、税率を段階的に引き上げる改正。税収は、喫煙者の人数次第である。

不足する 防災資器材を購入

市の指定避難所のうち、収容人数が多い避難所や小中学校体育館において、簡易ベッドやパーティション等の資器材を購入するため増額補正をする。

問 何を、どの避難所に

増やすのか。また、備蓄品の目標数は。

答 簡易ベッド、パーティション、トイレテナットの3種類。チクロス、サンコア、南コミセンの3カ所の避難所に設置。他に小学校、中学校、サザンクス筑後などに導入。備蓄品の目標は、2年の台風10号の経験から、2000人分を見込んでいる。



さらに充実する教育支援センターへ

厚生委員会

答 負担能力に応じて公平なものとする必要がある。また、令和2年度から税率は据え置いているが、8年度からは子ども・子育て支援金が上乗せされる。この影響を踏まえて税率改正に臨む必要があると考えている。

問 限度額が上がると、収入や所得が前年同様でも保険税が上がることになる。対策はないか。

今年も賦課限度額が拡大

国民健康保険税条例の一部改正では、国の改定に伴い、賦課限度額は、基礎課税限度額を1万円引き上げ66万円に、後期支援金を2万円引き上げ26万円とする。一方で、低所得者の負担軽減のため軽減判定基準を拡大する。

救急車両の購入が 来年度へ

当初予算に計上していた高規格救急車両の購入は、落札事業者の辞退により年度内の納品が困難となったため、翌年度へ繰り越す。

問 契約できなかった原因は。

答 落札事業者と仕様書の内容を確認した結果、

「教育研究所」から



もっと知りたいか
ちっごの課題

建設経済委員会

委員会では、補正予算1件について審査し、全員賛成にて原案可決した。

損傷した部分のほとんどに保険が適用

令和6年5月4日に起きた久富団地火災により、損傷した5部屋の改修に必要な工事請負費3359万円を増額補正する。主な工事内容は、火災で損傷した部屋の壁や天井の洗浄、修復、防水、塗装などの工事のほか、家具やガラス、クロスなどの内装工事、電気・機械設備工事などである。また、火災が起きた当時、被害があった5部屋

のうち、入居していたのが4部屋、空き部屋が1部屋だった。

問 工期はいつまでの予定なのか。

答 7年度末を予定している。また、工事自体は4、5カ月で終了する予定。

問 損傷した部分については、保険適用されるか。

答 火災保険の適用については、「公益社団法人全国市有物件災害共済会」に市が加入しているため、火災により損傷した部分の原状回復について、ほとんどの部分で、保険が適用される。

また、今回の保険適用に伴い、保険の分担金が増えることはないことも確認している。



火災により損傷した久富団地

仕様書不適合が2カ所判明。対応を協議したが、困難であるとして辞退の申し出があった。

問 今後の流れは。

答 再入札か随意契約になる。いずれにしても、明許繰越の補正予算の議決を受けた後でなければ進めることができない。



現在使用している救急車両

一般質問

ズバリ 市政を問う

一般質問の映像は、
市ホームページで
見ることができます。



6/11

貝田弘子議員
山下秀則議員
富安伸志議員
吉岡正晴議員

6/12

川口裕三議員
高野一成議員
宇野 晶議員
鶴佑季子議員

6/13

川口樹里議員

今定例会での一般質問は、6月11日から13日までの3日間で行われ、9人の議員が質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。掲載は質問順としています。

太陽光発電の 規制条例が必要では



貝田 弘子 議員

答 条例制定に向けて
取組を始めていき
たい

問 網羅的に監視、確認する
体制構築には課題がある。
正しく恐れ、正しく
守るのが予防

問 予算拡充や制度の見
直しは。
答 対象者の拡充はせず、
現行通りで継続する。

問 道沿いや空き地など
への太陽光発電の無秩序
な設置が進めば、まちづ
くりの観点からも深刻な
影響が懸念されるが。

問 P F A S (※)につい
て、今後の取組計画は。
答 昨年度から、井戸水
検査等の検査項目に追加
した。水道水のP F O S
とP F O Aの水質検査は、
本年度から年4回実施す
る計画。

(※)炭素とフッ素が結
びついていて自然界では
分解されず川などに長期
間残存し、人体に影響を
与える恐れがある。

答 現時点では、市には
明確な指導や規制の権限
がないが、市民の不安軽
減に向け、関わり方につ
いて丁寧を検討したい。

安心感や生活の 質の向上のために 配食を

問 筑後地区の9市3町
で比べたところ、小・中
規模の太陽光発電システ
ムは筑後市が一番多い。
小・中規模は規制がかか
りづらいと思うが、安全
や景観への影響は。

問 過去5年間の高齢者
配食・見守りサービスの
利用者数が約40%減つて
いる理由は。

答 それについて、市が

答 家族などが近所に住
んでいるなどして、見守
りが必要な方を対象外と
したことが考えられる。



見守りも兼ねた高齢者配食サービス

持続可能な地域公共交通網が鍵

答 移動手段の充実に取り組んで行く



山下 秀則 議員

約8カ月経過した循環バス利用の現状は。また、コミュニティ自動車協議会との連携協議は。

答 徐々に利用者数も増えているが、利用者のニーズや様々な課題も出ている。利便性を高め、多くの人に利用してもらえように見直しを行っ

ている。また、中心市街地以外の校区を結ぶ交通手段として地域主体のコミュニティ自動車がある。競合ではなく共存しながらお互いのメリットを生かした交通ネットワーク構築を目指し、協議会と十分意見交換を行いながら、利用者の視点で循環バスの利便性や乗り継ぎの仕方などを協議していく。持続可能で安心して住み続けられる公共交通網を目指し移動手段の充実に取り組んで行く。

問 羽犬塚駅周辺循環バスが昨年10月から運行している。人口減少・高齢化・財政の安定・コンパクトシティといった重要な課題を、地域公共交通が担う施策と認識している。



羽犬塚駅周辺循環バス

市民からは「周知不足、コミュニティ自動車との連携が不十分」という声を聴く一方で、市街地の循環バスは持続してほしいとの声も上がっている。

2025年問題への対応は



富安 伸志 議員

減便などの検討もされている。飲食業や小売店でも、高齢化が進み、正社員・アルバイト共に、人材不足は常態化しており、営業時間の縮小や、近い将来には店舗数の減少なども懸念される。

答 事業所への情報提供や支援に努める

市ができる支援を

問 今後、雇用確保の面で、市ができる支援、応募

して、情報提供や支援に努めていきたい。

2025年問題

国民の約1/4が75歳以上の後期高齢者になることで社会保障・労働力・医療などに影響が生じる



社会保障費の負担が増大

働き手不足で経済成長が鈍化

医療・介護の需要が拡大

早急な対策が求められる2025年問題

学校防災体制の強化は

答 地域連携で学校安全の実効性の向上を図る



吉岡 正晴 議員

問 子どもたちの命を守る学校安全のためには、学校・地域・行政が一体となった不断の見直しと強化が必要だと思うが。
答 現在、全ての学校に防犯カメラを設置している。また、門扉の設置を

進めている。今年度中に全12校中11校が設置完了の予定だ。また危機管理マニュアルのもと、日頃より職員研修等を通じ、児童生徒の安全を守るために備えている。

体制を強化する考えは

問 施設の問題や受付の問題など考えられるが、今後、市としての方針と対策強化の考えは。
答 何が効果的なのか、十分に検討する必要がある。令和元年度に全小中

学校に、防犯カメラの設置が完了。それ以降、5台の追加設置をし、今年度2台の増設を予定している。

問 防災備蓄品を学校に整備しているのか。
答 児童生徒用の備蓄品として、全児童生徒1食分を羽犬塚中学校の防災倉庫に備えている。風水害などの場合は、休校の措置あるいは早く帰すことが原則だ。在校中、地震が発生した場合は、学校やその他の指定避難所へ避難することになる。



そのときのために、今日できることを

スポーツ振興のための施設整備は



川口 裕二 議員

問 これまでに解体された体育館・野球場・テニスコートなどは、いまだに建設されていないが。
答 新たなスポーツ施設の整備は、再編後の小学校跡地を候補地の一つとして検討を重ねてきた。
問 検討した内容は。
答 下妻小学校跡地には「野球もできる多目的グラウンド」を、古島小学校跡地には「テニスコートを含む多目的広場」を予定。また、旧古島小学校体育館を改修して「市民体育館」として残す予定。

答 新たなスポーツ施設の整備に取り組んでいく

野球場とテニスコートの専用施設は

問 学校跡地以外に専用の野球場を設置する考えは。
答 建設には、数十億円もの費用がかかると思われる。現状としては厳しい。

問 テニスコートは、ローラーやブラシをかけるなど、使用後は整備に努力が必要。跡地に余裕があれば、多目的広場と別々に設置できないか。
答 実現には、地元や関係団体との調整も必要と考えられるので、運用後に検討していく。

空調設備の備えは

問 「市民体育館」には、熱中症対策として、空調

<下妻小学校跡地>



<古島小学校跡地>



新たなスポーツ施設の整備予定地

米不足解消へ

答 前年比12%増の703ha作付け



高野 一成 議員

問 コメが昨年より著しく品薄になった「令和の米騒動」以降、コメの価格は高止まりし、ついには大量の備蓄米の放出という事態になったが、市長の見解は。

答 市民への影響として、

家計に占める食費の割合を示す「エンゲル係数」が43年ぶりの高水準になった。また、備蓄米の購入に早朝から行列がでる現状は、多くの家庭で経済的に厳しい状況が強いられると推察する。

問 米飯給食の回数や給食費に影響はあるか。

答 ともに変更なし。

問 農業従事者の高齢化や米価高騰などの問題がある中で、新たな水田施策の方向性は。

答 令和9年度から、水田を対象として支援する

水田活用直接支払交付金を、作物ごとの生産性向上への支援へと転換する予定。

ヤングケアラーの認知向上を

問 ヤングケアラーを支援するためには、まず実態を把握することが必要

答 市こども計画に「ヤングケアラー把握のため

の実態調査」を挙げている。把握には、日常生活でヤングケアラーに気づく機会がある学校現場の協力も得ながら進めていく必要がある。

基幹的農業従事者（個人経営体）

単位：万人、歳

| | 平成27年 | 令和2年 | 令和4年 | 令和6年 |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| 基幹的農業従事者 | 175.7 | 136.3 | 122.6 | 111.4 |
| うち女性 | 75.1 | 54.1 | 48.0 | 43.1 |
| うち65歳以上 | 114.0 | 94.9 | 86.0 | 79.9 |
| 平均年齢 | 67.1 | 67.8 | 68.4 | 69.2 |

出典：農林業センサス、農業構造動態調査（農林水産省統計部）

行財政改革の取組は



宇野 晶 議員

財政健全化の取組は

問 全国的にはふるさと納税受入額が、過去5年間で2・3倍に急増している。当市は近年約4億

円と横ばいだが、現状は。

答 返礼品の充実を図るため、所管を商工観光課へ移管した。寄附額の増加を目指してさらなる返礼品の発掘、商品の多様

答 継続した取組を行っている」と認識している

化、寄附を募るツールの強化等を推進したい。

問 公共施設等総合管理計画について、今後増大するインフラ改修等により、市の財源不足の心配はないか。

答 現状では資金不足になる心配はない。ただし、実施に際し当然負担が生じるため、選択をしながらやっていきたい。

問 近年の社会情勢の変化に対応して、新たな大綱を策定し、具体的に行革に取り組むべきでは。

答 大綱を策定するまでもなく、毎年の行政経営システムにより、目的を達成することができると思っている。



ふるさと納税で人気のシャインマスカット

危険な道路や街灯を見つけたら

答 管理先が分からないときは市に相談を



鶴 佑季子 議員

問 羽犬塚駅からサザンクスまでの道のりは、市民のみならず駅を利用する市外の方も多し。対外的評価や防犯のためにも終電までは街灯の灯りをつけておくべきでは。

答 サザンクスのイベン



メニューを開く

閉じる



道路や街灯の損傷報告なども
できる市公式ライン

ト終了時間等を調査し、点灯時間を検討したい。

問 駅前の通りにある横断歩道が消えかかっている。管理は警察だが、市で対応する考えは。

答 市で対応するのは難しいが、相談の都度、警察への情報共有を行い、少しでも早い対応をお願いしている。

オストメイト対応トイレの状況は

問 現在、本市のオストメイト(※)の方は何人いるか。

答 オストメイトの多くが所持する膀胱・直腸機能障害等身体障害者手帳の所持者は令和7年3月末で71人。

問 市内のオストメイト対応トイレの設置状況は。

答 公共施設は13施設。民間施設の具体的把握はしていない。

問 オストメイト対応トイレがある避難所は。また、その周知は。

答 指定避難所の30施設の内5施設。オストメイトの方から相談があれば、チクロスや筑後南コミュニティセンターを案内している。情報発信も検討したい。

(※)オストメイトとは、病気や事故などが原因で、腹部に人工肛門や人工膀胱(ストーマ)を造設した人のこと。

どのように手話を普及しているか



川口 樹里 議員

問 手話を使用しやすい環境の整備は。

答 聴覚障害者が社会参加しやすくなるような取り組みや、手話や聴覚障害への理解を深めるための啓発が必要。手話に触れる

手話以外の情報保障・コミュニケーションも問う

問 要約筆記の状況は。

答 市内ボランティアの会は20年程前から休止。市主催の講演会など、より多くの方が参加しやすい環境づくりは必要。手法などを調査したい。

問 聴覚障害者等がチャット形式で通報できるNET119の登録者数は。

答 市内では現在7名。

問 救急車内や事故現場での意思疎通のため、コミュニケーションボードを常備できないか。

答 積載に向け協議・検討したい。

問 避難所でもコミュニケーションボードが必要では。

答 災害警戒本部救護班と検討したい。

問 災害時等では、聴覚障害者も自ら配慮を求めなければならない。聴覚障害者用パンダナの存在について周知は。

答 配付して年数が経過しているため、再周知していきたい。



避難所での配慮や手話ができることを表すパンダナ

● 庁舎建設特別委員会の活動紹介 ●

新庁舎建設について協議するため、昨年6月議会で庁舎建設特別委員会が設置されました。発足から11回の会議を重ねてきた当委員会の活動内容を紹介します。

| 回 | 主な会議内容 |
|------|------------------------------|
| 第1回 | 委員会の正副委員長を決定 |
| 第2回 | 建設地について |
| 第3回 | 建設地について / 新庁舎を建設した鳥栖市と八女市を視察 |
| 第4回 | 市民アンケート結果について |
| 第5回 | 庁舎のあり方検討推進会議の協議結果について |
| 第6回 | パブリックコメント、市民説明会について |
| 第7回 | 冠水対策について |
| 第8回 | 委員会の正副委員長を決定 |
| 第9回 | 福岡県地域防災計画についての確認内容(報告)について |
| 第10回 | 庁舎建設基本設計策定に向けての検討事項について |
| 第11回 | 新庁舎フロア、費用支出について |

免震体験車試乗会



耐震構造と免震構造の違いを体験

庁舎建設の取組の一環として、免震体験車試乗会が6月20日(金)に開催され、議員も参加しました。

試乗会では、東北地方太平洋沖地震や熊本地震の揺れを再現し、「耐震」「免震」と異なる構造での揺れ具合の差を体感しました。

議会を傍聴しませんか



本会議は、どなたでも傍聴できます（乳幼児同伴の場合は、託児をご利用ください。要事前申込み）。本庁舎2階の議場にお越しください（当日傍聴人受付簿の記入をお願いします）。議会では、定例会開会日の3日前に一般質問の順番が決まった後、その順番と内容を記載したチラシを、市民課ロビーとサンコアロビーに置いています。ホームページでもお知らせします。

託児は無料で利用できます！

傍聴を希望する人で、小さなお子さんを持つ人のために、託児を行っています。傍聴希望日の4日前までに、議会事務局へ申し込んでください。無料で利用できます。

インターネットや庁内テレビでも生中継！

本会議の様子は、インターネットで中継しています。
市民課ロビー、サンコアロビーのテレビでも生中継をしています。
詳しくは、議会のホームページをご覧ください。



（ 右のQRコードからも入ることができます。）

次回の定例会は9/5（金）からの予定です（一般質問は9/10～9/12の予定）。
問合せ（議会事務局 ☎0942-53-4013）

定例会傍聴者延べ数

| | 3月 | 6月 | 9月 | 12月 |
|----|-----|-----|-----|-----|
| 5年 | 55人 | 59人 | 53人 | 34人 |
| 6年 | 37人 | 39人 | 45人 | 24人 |
| 7年 | 80人 | 30人 | | |

インターネット生中継視聴件数

| | 3月 | 6月 | 9月 | 12月 |
|----|-------|------|------|------|
| 5年 | 757件 | 765件 | 680件 | 799件 |
| 6年 | 952件 | 660件 | 829件 | 545件 |
| 7年 | 1341件 | 920件 | | |

スマートフォンやタブレットでもインターネット中継が視聴できます。

議会の主な動き

- 5月**
 - 13（火）高知県南国市議会行政視察来庁【図書館事業】
 - 14（水）議会だより編集特別委員会
 - 16（金）茨城県笠間市議会行政視察来庁【定住促進事業】
 - 20（火）全国市議会議長会（東京都）
 - 27（火）庁舎建設特別委員会
 - 29（木）議会だより編集特別委員会
 - 30（金）議会運営委員会
議会改革調査特別委員会
- 6月**
 - 3（火）厚生委員会協議会
定例会（～20日）
 - 6（金）議会運営委員会
議会だより編集特別委員会
 - 20（金）免震体験車試乗会
 - 26（木）庁舎建設特別委員会
- 7月**
 - 2（水）議会だより編集特別委員会
 - 9（水）山口県光市議会行政視察来庁【定住促進事業】
 - 16（水）議会だより編集特別委員会
 - 23（水）岐阜県各務原市議会行政視察来庁【小学校再編事業】
 - 24（木）庁舎建設特別委員会
千葉県君津市議会行政視察来庁【Hawksベースボールパーク事業】
 - 25（金）議会運営委員会
議会改革調査特別委員会

委員長 川口裕二
副委員長 川口樹里
委員 川口樹里
委員 矢加部晴子
委員 貝田茂弘
委員 中村和弘
委員 宇野晶
委員 村上博昭

ちくご市議会だより
編集特別委員会

あ 活字離れや政治離れが進んでいると言われているが、筑後市議会の様子を知らせることができる唯一の媒体がこの議会だよりである。

と 一人でも多くの市民に手に取ってもらい、議会を身近に感じてもらうよう、次号からのリニューアルを進めている。

が とはいえ、全面的に変更するには時間がかかるため、読者からの意見を伺いながら試行錯誤していったらと考えている。

き どうか、温かい目で見守っていただくと共に、率直な意見や感想をいただけるとうれしい。

次号からお楽しみに。

